

今週の為替相場見通し(2026年5月25日)

総括表		先週の値動き			今週の予想レンジ
		注	レンジ	終値	
米ドル	(円)		158.59 ~ 159.40	159.22	157.50 ~ 160.50
ユーロ	(ドル)		1.1577 ~ 1.1662	1.1603	1.1550 ~ 1.1750
(1ユーロ=)	(円)		184.23 ~ 185.21	184.72	184.00 ~ 185.50
英ポンド	(ドル)		1.3304 ~ 1.3463	1.3430	1.3300 ~ 1.3550
(1英ポンド=)	(円)	*	211.15 ~ 214.05	213.77	212.00 ~ 215.00
豪ドル	(ドル)		0.7080 ~ 0.7183	0.7129	0.7050 ~ 0.7200
(1豪ドル=)	(円)	*	112.64 ~ 113.98	113.46	112.70 ~ 114.70

(データ)先週の値動きに関して、注の欄で無印の項目はみずほ銀行、*印の項目はブルームバーグ。

1. 米ドル

国際為替部 為替営業第一チーム 大野 梨紗

(1)今週の予想レンジ: 157.50 ~ 160.50 円

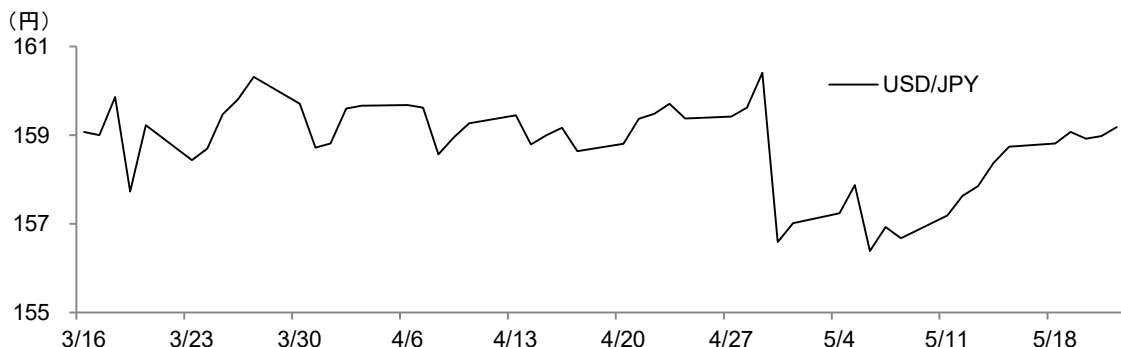
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週のドル/円は159円ちょうどを挟んでレンジ推移した。週初18日、158.86円でオープンしたドル/円は原油高を横目に一時159円台前半に上昇。海外時間は158円台後半を中心にレンジ推移した。19日、ドル/円は原油価格上昇や本邦財政悪化懸念を材料に159円台を回復。海外時間は、ベッセント米財務長官による円安けん制発言を受けて瞬間的に158円台後半に急落も、程なく159円台を回復。20日、ドル/円は158円台後半で上値重く推移。海外時間は、トランプ米大統領の発言からイラン情勢の早期和平期待が広がり、一時週安値となる158.59円に急落。その後は発表されたFOMC議事要旨のタカ派的な内容も材料視され、159円手前まで上昇。21日、ドル/円は日本株の堅調推移を横目に159円台に乗せる。海外時間には一時週高値となる159.40円まで反発。22日、ドル/円は159円ちょうど付近で動意なく推移。海外時間には発表された米経済指標の結果やウォラーFRB理事の今後の利上げの可能性を示唆する発言を受け、小幅に上昇。ドル/円は159.22円で越週した。

今週のドル/円も引き続き上値重くも底堅い推移を予想。先週20日(水)に公表された4月会合分のFOMC議事要旨は、中東情勢の混迷でインフレ率が目標の2%を上回り続けた場合、金融政策の引き締めが適切になる可能性が高いとの意見が多数を占める内容であったことで、米国の年内利上げ観測が急速に高まる市況となった。今後発表されるインフレ関連の米経済指標結果が堅調な内容となれば、引き締めの政策スタンスが意識されドル買いが見込まれやすい。また、トランプ米大統領はイランとの和平協議について最終段階との認識を示しているものの、依然として不透明なままであり、この状況は継続的なドル買いを後押ししよう。このような状況下、米国では28日(木)に4月個人消費支出(PCE)デフレーターが公表予定である。既に公表されている4月分の消費者物価指数(CPI)や生産者物価指数(PPI)は総じて強い結果となっている。本指標についても堅調な結果となった場合には米利上げ観測が広がり、ドル買いが強まることが想定されるものの、160円手前では引き続き介入警戒感から上値は抑制されよう。一方、イラン情勢に進展が見られた場合の原油価格下落に伴うドル売りや、29日(金)に本邦で発表予定の5月東京消費者物価指数の結果が上振れた場合、日銀の追加利上げ期待の再燃から円買いに転じる可能性には留意しておきたい。

(3)先週末までの相場の推移

先週(5/18~5/22)の値動き: 安値 158.59 円 高値 159.40 円 終値 159.22 円



(資料)ブルームバーグ

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。
しています。

レポート全ページをご希望の方は、
お取引いただいているみずほ銀行の
お取扱店、またはお取引担当部まで
お問い合わせください。

以上